

【事業者向け】児童発達支援自己評価表

事業所名：ハートシード風【児童発達支援】

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1	3		<p>法令を遵守し、安心と支援の目と手が行き届くようスペースと人数を考慮して、安全に活動できるよう努めています。</p> <p>保護者も参加するため、手狭に感じることも多く、十分なスペースの確保が難しい場合もあるため、活動内容を出来る限り考慮しています。真四角の空間は、全体を把握することができるため、その空間を利用した活動を考えています。</p> <p>走り回するには狭さを感じますが、お散歩など屋外で思い切り身体を動かせるような活動も取り入れています。</p> <p>活動していく中で、スペースをどう有効的に使っていくかを日々試行錯誤しています。親子参加での活動のため、参加人数が多い日はスペースの確保が難しい場合があります。その際には、事故や怪我が起きないようにできるだけ密にならないような活動設定を心掛けています。</p>	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	1			<p>利用児の人数に対して法令で定められている職員数より多く配置しています。事前に利用者の人数、職員の配置を職員間で確認し、安全面を第一に考えて設定しています。受入時の聞き取りの際には、保護者の方が安心してじっくりお話が出来るように職員の体制を工夫しています。お散歩の活動の際には、職員の配置数を増やしています。</p>	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11				<p>個々のお子さまが理解し行動しやすい生活空間となるように、活動や片付けの場所や掲示の方法などを日々検討しています。支度がしやすいような動線づくりや、ホワイトボードを有効活用し、活動内容を文章とイラストで示したりと、掲示の仕方を工夫しています。怪我防止のため、危険物の管理、窓には飛散防止シート、壁にはクッションマットを貼り、活動中の施錠、柵の強化をして安全対策しています。洗面所の段差が一か所ありますが、段差の手前に色テープを貼って段差に気づきやすいような工夫をしています。</p> <p>改善すべき点もまだございますので、ご意見を頂きながら安全面に配慮し、改善していきます。</p>	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11				活動の終了時には、感染予防対策を念頭に、念入りに清掃や消毒を行っています。怪我防止のための環境面を整えたり、活動中の換気や、清潔の保持、安全面に配慮しながら、心地よい空間が提供できるように努めます。壁面や装飾等についても、季節を感じられたり、活動に合わせた物にするよう工夫しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11				必要に応じて、個室や落ち着ける場所を提供します。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	11				毎日のミーティングや活動後の一人ひとりのお子さまの様子を振り返り、定期的な全体会議などで、職員間で情報を共有し、改善に向けて取り組んでいます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11				アンケートを実施し、結果を基に業務改善につなげています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11				年に2回の面談や、月1回の会議、日頃の話し合いの中で意見を出し合い業務改善に繋げています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	1		1	第三者による外部評価を行っています。市からの監査を受けた際には、評価の結果を業務の改善に繋げていきます。同法人事業所と評価を共有し、改善に取り組んでいます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11				年間研修計画に基づき内部・外部研修を積極的に行っています。時間を有効的に活用出来るオンラインの研修等を実施しています。今年度は、外部講師をお呼びして勉強会を実施しました。また、職員間で書籍や資料の共有が盛んになるような環境作りを進めています。 まなこどもクリニックの医師やクリニックから月2回お越し頂いている公認心理師とのやりとりも大変勉強になっており、今後も継続して学んでいきたいと思っております。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な 支援の 提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10			1	公表が義務づけられた支援プログラムは、話し合いを重ねて作成し、R6年度に公表しました。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	11				ご利用になる際には、面談を設けアセスメントを丁寧に行っています。アセスメント後には、職員間で共有し、支援者会議を行っています。 質問用紙にてニーズや課題をご記入頂き、詳しくお話を伺い、児童発達支援計画を作成しています。相談支援事業所の計画を基にしながら、お子さまの心配事や、保護者のニーズの確認、活動の様子や見立て、今後の具体的支援やご家庭での関わり方、療育の必要性や利用継続の意志確認等について改めて一緒に考えていく時間に行っています。 職員それぞれが支援計画やモニタリングを立案する中で、個々にどんな支援、遊びが必要なのかを考える機会になっています。職員一同努力しているところですが、発達の見立てや保護者との共有には、更に研鑽が必要と考えています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11				お子さまについて理解を深めるために職員で話し合い支援計画について検討しています。 月1回以上のケース検討会議で共有、共通理解をしています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11				児童発達支援計画の具体的支援内容を基本として、日々の活動を行っています。活動後の振り返りの時間では、支援計画を踏まえながら、支援の向上に努めています。 個別支援計画を理解する為に、記録、アセスメント表を各職員が把握できるよう努めています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11				標準化されたアセスメントツールを踏まえて、日頃のお子さまとの関わりを参考にして活動を組み立てています。 活動後の記録については、5領域(健康・生活、運動・感覚、認知・行動、言語・コミュニケーション、人間関係・社会性)を取り入れた記録を作成しています。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な 支援の 提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10		1		半年毎の個別支援計画の作成過程や活動の中で具体的な支援を実施する上で、ガイドラインに示されている要件を踏まえつつ、お子さまやご家族の様子や環境の状況に必要な支援を選択し、設定しています。支援の範囲は広く、活動を通したお子さまに対する直接的な支援の他、間接的な環境作りの支援（ご家族に対する支援、保育園・幼稚園・学校等との連携、地域の体制作り等）も大切と考えています。職員一同努力しているところですが、発達の見立てや保護者との共有には、更に研鑽が必要と考えています。	「地域支援・地域連携」については、地域と連携していく為の体制作りを検討していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11				お子さまの興味・関心が自然と湧いて身体が動くようなあそびになるように、個々のお子さまの発達や特性を踏まえた上で、幅広いあそび・多様な楽しみ方が出来るような活動構成を、担当する職員間で考えています。各クラスで、情報を共有して進めています。活動の振り返りや次回の活動内容の検討をチーム全体で行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11				月にプログラムの内容を検討し、季節を感じられるようなあそびを取り入れています。また、チームでプログラムを立案しており、様々な意見・工夫や、その時々のお子さまの興味・関心も活動に反映させています。活動の積み重ねを大事にしつつ、友達との関わりが生まれるような遊びや、新しい活動の提案も行うようにしています。毎月活動を工夫しながら、楽しく取り組めるように考えています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	11				お子さまや保護者の方の状況に応じて、小集団の活動と個別活動を行なっています。お子さまの必要状況に応じて、言語聴覚士による個別活動を案内しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11				当日は職員間で支援内容や役割分担の再確認を行っています。必要な情報は、共有するように心掛け、チームで連携しています。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11				担当した職員間で支援の振り返りを行い、記録に残して次の活動に繋げていきます。 事前打ち合わせや活動後の振り返りの時間については、職員間の思いや気付きを共有しあえる時間になっています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11				活動全体の記録とお子さま一人ひとりの記録を行い、支援の検証・改善に繋げるように努めています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11				児童発達支援計画の見直し時期に加え、お子さまの日頃の姿・家庭生活・集団生活での変化を見ながら、半年毎の他、必要に応じて行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11				主には、児童発達支援管理責任者・担当職員・管理者などが出席しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11				必要に応じて、まなこどもクリニックや、幼稚園や保育所（園）、相談支援事業所、市の保健福祉センターとの連携を取っています。 お子さまやご家族様にとって有益なものとなるように努めています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	1	1		同法人事業所を併用利用しているお子さまについては、情報を共有し、支援に繋げています。 以前に幼稚園の先生が来所され、担当のお子さまの園での様子、療育での様子、支援方法等を共有することがありました。必要な場合に訪問も行っており、情報共有に努めています。 個別支援計画書の共有については、保護者を通して行なっています。今後も、ご家族とご相談しながら連携が有益なものとなるように努めていきます。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点
関係機関や保護者との連携	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11				今年度から当事業所が多機能型事業所になり小学生の受入れも始めました。同法人事業所の放課後等デイサービス担当職員と情報共有し、小学校や特別支援学校と連携をしていけたらと思います。就学説明会や個別相談、学校見学などの就学相談を活用して頂けるよう情報提供を行なっています。外部の機関(小学校等)から依頼を受けた際には、情報共有や事前の見学の受け入れを行なっています。	
		(28~30は、センターのみ回答)						
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。						
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。						
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域のこども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。						
		(31は、事業所のみ回答)						
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5		5	1	お子さまやご家族とご相談しながら連携が有益なものとなるように努めています。また専門機関が開催する研修等には積極的に参加しています。	児童発達支援センターが近くに開設されたので、今後連携をとっていきたいと考えています。
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	1	4	1	お散歩や公園遊びの活動時に地域のお子さんに関わるきっかけはあると思って支援しています。外活動の際には、近所のお子さんや周辺の保育園や幼稚園のお子さんたちが公園に来ていた際には、遊びの中で交流する機会もあります。	同法人事業所との交流する機会を設けながら、少しずつ地域活動を広げていけたらと思います。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点
関係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合 い、こどもの発達の状況や課題について 共通理解を持っているか。	11				活動時の聞き取り用紙や連絡帳(ノート)を活用しつつ、毎回直接聞き 取り等行っています。日々の活動中や電話・面談、保護者同士の話 し合いの場(マザーリング)などを通してお話する機会を設けていま す。お子さまの日頃の姿を発達状況や生活環境に照らして考え、課 題について共有したいと考えています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家 族に対して家族支援プログラム(ペア レント・トレーニング等)や家族等の参加 できる研修の機会や情報提供等を行って いるか。	10		1		親子で参加して頂く活動の中で、お子さまの特性や接し方を保護者 の方に伝えたりしながら学んでいくことが、家族支援と捉えていま す。日々の活動場面や活動の振り返りの時間(マザーリング)、面談、 などを通してお子さまとの関わりや声かけなどについて、一緒に考 える機会を設けています。 ペアレントトレーニング講座については、ご家族の希望に応じて個 別相談やコースでの受講も行っています。	以前に開催した保護者向けの講座や交流会が好 評だったため、実施出来るように検討してい きたいと思います。 職員間でペアレントトレーニングのプログラ ム内容の共有を強化していきたいと思 っています。
保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担 等について丁寧な説明を行っているか。	11				契約時に重要事項説明書及び利用契約書の読み合わせをしながら料 金表とともに説明をしています。報酬改定があった際には、再度改 定の内容と共に料金表の説明を実施しています。気兼ねなく質問が 出来るような雰囲気作りを心掛けています。 運営規程は常時閲覧できる場所に配置しています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こ どもや保護者の意思の尊重、こどもの最 善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、 こどもや家族の意向を確認する機会を設 けているか。	11				ご利用時の相談票やお話、計画作成前にご記入頂く質問紙により意 向の確認を行い、支援計画に反映させています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援 内容の説明を行い、保護者から児童発達 支援計画の同意を得ているか。	11				児童発達支援計画を作成後、面談にてご家族と共有しています。丁 寧な説明を心掛けています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等 に対する相談に適切に応じ、面談や必要 な助言と支援を行っているか。	11				日頃の活動の中で、連絡帳(ノート)や保護者に記入して頂く用紙を通 して、その都度相談にのれるような体制を整えています。ご家族か らのお電話でのご相談や、時間を要する場合には面談を行います。 支援計画の見直しや、お子さまや集団生活の状況が変化した時など も面談を行なっています。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	11				<p>日頃から親子活動を通して、保護者間の交流する機会を設けています。活動していく中で、親御さん同士も少しずつ知り合いながら、交流を深めています。</p> <p>めばえっこクラスでは、職員と保護者間での活動の様子の共有や振り返り、意見交換の場を設けており、今後も継続していきます。</p> <p>活動の時間に、きょうだい児の預かり事業として、未就学児と就学児の預かりを行っています。</p> <p>他のきょうだい同士と一緒に遊んだりと交流の場となっています。</p> <p>活動で夏祭りを実施した際には、きょうだいも一緒に参加してゲームを楽しんだりする機会もありました。</p>	<p>親子活動の中で、保護者同士がゆっくり話せるような時間を提供できるように職員間で検討していきたいです。</p> <p>保護者同士や、きょうだい、地域交流となるような場を提供し、交流が深まるような機会を増やしていきたいと思います。</p>
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11				<p>いただくご意見、ご要望は大切に受け止めて対応し、体制を整えます。体制については、活動室に苦情解決時の対応について掲示しています。苦情やご要望があった際には、その都度対応しています。</p> <p>年に一度、苦情解決連絡会議を設けています。</p> <p>お父さまやご家族から苦情を受けた時には、契約時にお渡ししました重要事項説明書に記載された方法で迅速に対応させていただきます。</p> <p>【①事業所内苦情解決管理責任者 ②苦情解決連絡協議会(第三者委員) ③行政機関苦情受付機関】</p>	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11				<p>皆様への必要な連絡事項や情報提供はその都度、掲示物やホワイトボード、毎月のおたより、口頭でもご連絡させて頂いています。</p> <p>ホームページのお知らせ欄も随時更新していますので、ご確認ください。</p> <p>年に一度、ガイドラインに基づいたアンケート（保護者評価、事業者自己評価）を実施し、結果をホームページの掲載や資料の配付でご報告しています。</p>	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11				<p>日ごろの事業所運営上、ご利用者様の個人情報の取り扱いには気を付けております。関係機関との連携などが必要な場合は、保護者様の同意を得た上で行ないます。不都合やご心配などございましたら遠慮なくお申し出ください。</p>	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11				活動の都度や、内容によってはお電話、お手紙配布や口頭等、ご家族の状況に応じた方法で、確実にやりとりするように心掛けています。また、お子さま1人ひとりの理解に応じて伝え方や聞き方の工夫をしています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1		9	1	今年度は、地域にお住まいの方々を招待する行事は実施しておりません。今後、検討していきます。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11				ご利用者様には、ご契約時やお手紙などでご説明しております。また各マニュアルは事業所内(ピアノの棚)に常備しております。感染症対応マニュアルについては、今後も定期的に見直し、対策を行ないます。 また、ご不明な点がございましたらいつでもお声がけください。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11				今年度は、避難訓練を9月に実施しました。できるだけ多くの利用者の方に参加して頂くために、避難訓練週間を設定しました。実際に緊急アラーム音を鳴らして、事業所の建物から外に避難しました。災害時の対応についてお手紙を配布し、災害緊急時メールの一斉配信を行いました。避難訓練での反省点を今後活かしていきます。	災害時は、ホームページのお知らせ欄を活用して、避難状況を掲載していきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11				服薬や予防接種、てんかん発作等については、保護者様の聞き取りと、子どもの状況変化をその都度確認し対応しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10			1	現在医師の指示書を提出されている方はいませんが、おやつを提供する場合は、事前にアレルギーについて細かく確認しています。以前に全職員に対してアナフィラキシーショック時の対応についての勉強会を実施しました。実際にエピペンの使い方の講習を受け、迅速に対応出来るように実践しながら確認しました。 アレルギーの有無や詳細の確認を契約時に行い、その後の経過についても把握に努め、職員間で共有しています。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点
非常時等の 対応	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11				定期的、月の活動に応じて、安全計画の確認や研修を行い、安全管理を行っています。 今年度中に、消防署の方をお呼びして、心肺蘇生法(AED)、異物除去法、止血法、消火訓練を予定しています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11				お便りや掲示物を通じて、周知を図っています。 安全計画については、事務所内に提示してあるため、今後も周知していきたいと思います。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11				ヒヤリハットがあった時には、職員で話し合い、報告書を作成し早急に対策を講じるように心掛けています。 同法人の事業所とも共有しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11				虐待防止委員を設置し、委員会を定期的に開催しています。毎年職員が研修を受け、研修に参加していない職員に対し、伝達研修を行っています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	11				現在は、対象となるお子さまのご利用はありませんが、やむを得ず身体拘束が必要な場合には、お子さまとご家族へ十分に説明し、了解を得た上で、児童発達支援計画に記載します。	